

まちづくり出前市長室（北灘地区）開催記録

1. 日時：2013年8月29日（木）19時～20時30分
2. 場所：北灘公民館
3. 参加者：市民（41人）、市関係者（市長、副市長、教育長、政策監、企画総務部長、市民環境部長、教育次長ほか）

1. 北灘地区自治振興会 会長あいさつ

2. 市長あいさつ

3. テーマに基づく意見交換

テーマ：「地区自治振興会 と まちづくり」～住民参加の現状と課題～

会長 北灘町で行われているまちづくりや住民の活動について説明させていただく。北灘町には、自治振興会、社会福祉協議会、婦人会、老人会、民生委員会、各地区の総代会、東西の小中学校、NPO 法人ハーモニー、自主防災会など、たくさんの団体があり、北灘町の色々な活動は、これらの団体が協力して行っている。そして、すべての団体が協力して行う一番大きな行事が「北灘まつり」である。

「北灘まつり」は、地域の活性化や住民の親睦を図るとともに、芸能文化の継承を目的として行われており、今年は45回目である。内容は、芸能の部、展示の部、お祭り広場の3つに分かれている。芸能の部は、カラオケ、舞踊、大正琴、腹話術などがあり、舞踊は、指導されている名取の先生の素晴らしい踊りも披露されている。展示の部は、彫刻、盆栽、手芸、生け花、書、全小中学生の作品等が展示されている。お祭り広場は、餅つき、たこ焼き、模擬店、中学生のバザー、NPO 法人ハーモニーの催し等がある。午後には、イベントとして、3地区の獅子舞、葛城神社のお練り、東西小学校のダンス、婦人会の踊り、高瀬豊子さんの歌謡ショー等が行われる。「北灘まつり」は、北灘町民の多くが、出演、出店、手伝い、見物等で参加する一大イベントになっている。

大きなイベントがもう一つ、榎木の妙見神社を中心として行われる、榎木の「ホテルまつり」がある。NPO 法人ハーモニーがプロデュースを行い、榎木地区総代会、北灘地区自治振興会が共催している。5月中旬に榎木川周辺や地域の清掃活動を実施して、ホテルまつりに気持ち良く参加していただけるようにしている。清掃活動には、百数十名が参加している。榎木住民のほかに、ヨットの練習をしている徳島大学の学生も協力してくれている。当日は、午後4時からのウォーキングのほかに、めだかすくいや、竹馬、竹とんぼ、こま回しなど、昔の遊びもふんだんに取り入れている。ここ2年は、3年前の豪雨で、ホテルが減少しているが、幻想的なホテルの舞が戻ってきてくれることを

祈っている。

次に、北灘町にとって最も大きな課題は、小学校・中学校の統合問題である。学校がなくなり、子供たちの声が聞こえなくなるということは、活性化を願う地域住民にとって、こんなに寂しく残念なことはない。しかし北灘中学校は、在校生が3人になり、来年3月には閉校されることが決まっている。また、北灘の東西小学校についても、明神小学校への5校統合の話が進められている。複式学級への保護者や子ども達の不安を考えると仕方がないことだが、地域の発展や活性化の観点から考えると、たいへん残念なことである。統合後、遠距離通学になる児童生徒への温かいご支援をお願いしたい。

また、地域の者にとって、来年度以降、中学校の跡地をどのように活用するのかということも大きな問題である。8月4日には、人口100人のへき地でありながら、地域が一体となって小中学校の存続を図り、地域の活性化に取り組んでいる伊座利を視察した。また、「北灘中学校跡地利用促進協議会」を結成して、9月には先進地の視察を行う予定である。跡地の有効利用のため、色々な意見を聴き、運動場への入り口の狭さの問題や、どの部屋をどう活用するか、今後の維持管理をどうするかなど、たくさんの課題がある。

次に、「過疎集落等自立再生緊急対策事業」として、市役所を通して、総務省から800万円の補助金が交付されることとなっている。これをどのように活用するかについては、何度も修正を加え次のように確定した。特産品開発事業として、婦人会に85万円、体験学習事業として、NPO法人と地区社会福祉協議会に88万円、防災対策事業として、自主防災会に96万円、子育て拠点整備事業として、NPO法人に35万円、伝統文化継承事業として、地区自治振興会等に144万円、地域活性化事業として、地区自治振興会に29万円、耕作放棄地再生事業として、農業生産法人に323万円の合計800万円をいただけることになった。現在、団体ごとに書類を作成し、補助金交付を受け活用している。また、補助金申請の手続きを進めているところもある。

続いて、人権教育の面では、昨年11月4日に北灘中学校で、「北灘地区人権福祉フェスティバル」を実施し、中学生とともに地域住民も勉強させていただいた。

自主防災会活動としては、9月2日に、大浦地区と北灘中学校の合同避難訓練を実施し、北淡震災記念公園副館長の米山正幸氏の防災講演会を開催する予定である。

北灘町では、独居老人への給食サービスを年3回実施している。これは、婦人会が中心となって、地区社協、民生委員、北灘中学生が協力して、公民館で作った手づくりの弁当に、北灘中学生が書いたメッセージを添えて、独居老人宅に届けている。お年寄りの方々には大変喜ばれている。

地域の美化活動としては、地域ごとに年に数回の清掃活動を実施している。そして、公園やプランターに花を植えて、花街道・地域づくりネットワークの花いっぱい運動にも協力している。彫刻公園でも、花壇の花づくりや清掃活動を行っている。粟田の仲良し公園では、毎年、ハマボウ・ヒマワリ祭りを行っている。以上、北灘地区の色々な

活動を説明させていただいた。

司会 ここで、北灘地区のまちづくり活動について、また、まちづくりへの住民参加について、市長の考えを少しご発言いただきたい。

市長 一つひとつの活動が素晴らしく、私自身も関わりを持って、参加したり、見させていただいている。その中でも一番感じるのは、北灘地区の団結力の強さである。北灘の皆さんの地域力が全て出ていると思う。先ほど、「過疎集落等自立再生緊急対策事業」の話が出たが、北灘町でこれをどのように活用すれば良いのか、期限を決めて、住民間で話し合われた。普通であれば、なかなか具体的に市に上がってこない。普段からこういうことを考えていなければ、骨組みから考えなければいけないが、あっという間に、「この事業、この事業」と市に上がってきた。こんな短期間で計画できるというのは、常日頃から皆さんが北灘町のことを考え、活動していることの表れであり、感心した。配食サービスについても、豪華なメニューであり、楽しみにしているので次回も呼んでいただきたい。

先日、外部評価委員会で、平成22年度から創設している「地域づくり事業活性化補助金」についての評価をいただいた。委員会の先生方から「考えながらやっていけば良いのでは」と言っていた。市民からは、「廃止すべき」という意見も出た。市としては、地域の皆さんともっとお話をしながら考えてやっていきたいと思っており、説明もしなければいけないと考えている。補助金をやめるわけではない。これをステップアップのきっかけにして、より良い補助金、使い方にしていきたいので、ご協力をいただきたい。

ひとつのヒントを北灘から得たことがある。北灘公民館でのカラオケ大会に招待していただいた際、皆さんの顔が非常に明るくて元気だと感じた。これを介護予防事業、健康づくりに役立てることができると思い、9月の補正予算で、老人福祉センター3階の大会議室にカラオケセットを設置し、地域の皆様に使っていただきたいとの提案をしたい。この考えは、北灘のカラオケ大会で歌わせていただいて、皆さんの笑顔を見たことがきっかけになっている。今後は、介護予防も意識していただいて継続してほしい。人口減少と高齢化の問題については、どこの地域でも問題である。北灘は、それを吹き飛ばすように、先頭を切って、元気に活動してほしい。この地域の活動が、5年後、10年後には、鳴門市全体の活動となると思いながら、元気いっぱい頑張っていたきたい。市も皆さんとともに考えて行動していきたいので、ぜひともよろしく願いたい。

司会 市長の話に対して意見はあるか。

市民 大浦地区で総代をしているが、北灘中学校が閉校になることが決まり、跡地利用について検討されているところであるが、いくつか問題がある。

1点目は、耐震化ができていない。校舎については、北灘町の災害避難場所になっており、耐震化ができていないことについては、不安な面もあるので、どのようにされる

のか聞きたい。

2点目は、北灘中学校への入り口が非常に狭いので、せめて、バスが通れるくらいの広さにしていただきたい。

今年に入って、北灘町で火災が多く、1件目が折野、2件目がクロハエ、3件目が大浦で発生している、全焼が2件と半焼1件。市の消防署からは遠いので、水がなかなか届かない。だから、消火栓を適当に配置してもらふことと、プールに水を貯めておくことをお願いしたい。これは、どこの地区においても共通的に考えられることだと思う。

これに関連して、空き地や空き家が増えてきてそれが野放しにされ、草がいっぱいになっている。空き家をそのままにしていると、もしかしたら漏電で火事が起こることもあり、環境的には非常に悪い。空き家については、更地にしたら税金が上がるなど色々と問題があるようだ。

市長 現在、鳴門市では小・中学校の耐震化を進めている最中である。県下の小・中学校においては、鳴門市の耐震化率が最も低い。鳴門市では、撫養小学校、黒崎小学校、桑島小学校の耐震化が来年できると、鳴門第一中学校を建て直したら、100パーセントになる。それと同時に、体育館の耐震工事を始めることになっている。同時に、幼稚園も取り掛かるので、申し上げにくいのだが、北灘中学校の耐震化をするにしても、優先順位ではかなり後になってしまう。それ以外の学校や施設の耐震化があるので、そちらも取り掛かっていかなければいけない。

耐震化の話になると、昭和56年5月に耐震基準が変わり、改正以前に建てられた市の建物は、順次、耐震診断、耐震設計をする必要がある。昭和50年代前半の鳴門市は、お金がたくさんあり、全てその頃に建てられた建物なので、耐震診断、耐震設計、耐震工事という順番を考えれば、厳しい現状になっている。また、北灘中学校への入り口については、以前から話をいただき、隣接する医療法人の土地を拡張できないか考えていた。私自身、二度お伺いし、医療法人の副理事長、部長と話をしたが、個人ではなく法人の土地であり、なかなか個人の自由にはならないとのことだった。土地を寄付していただいて道路を拡張することが鳴門市の一つのルールになっている。市が土地を買収することは難しいので、当該道路については、非常に厳しい。西側の道路を拡張するにしても、民有地があるので難しいと思っている。今年は、北灘まつりが北灘中学校で開催されると聞いたが、学校と相談して、プールの敷地に車を入れて駐車場にするなど、暫定的なるが、そういう方法もとれないかと思っている。

消火栓については、水圧のことも質問にでており、すぐに回答できないので、水道事業課と消防本部と話をし、松本会長を通じて回答したい。

空き家については、全市で20パーセントほどある。県下では、三好市が最も空き家率が高く、27パーセントである。なぜ、市内にこれだけあるのかと言えば、別荘やリゾートマンションの空室も空き家にカウントされるから。また、空き家を更地にしたら、固定資産税が高くなるから、わざとそのままにしている人もいると聞いた。空き家対策

については、市も考えなければならない。

先日も、空き家について考える庁内の会議があった。空き家を壊しても税金が上がらないような方法はないのかと話し合った。何か対応をしなければ、空き家をそのままにしておく人が出てくるので、固定資産税も含めどこまで考えるのかと話し合いをしている最中である。どこの市町村でも、空き家を壊して更地にしたら、固定資産税は上がるので、壊さない人は多いと思う。これは、全国的な問題で、都会も田舎も同じである。県、四国、全国の市長会でも空き家対策に対する支援について、提案をさせていただきたい。

また、北灘には、かなりの数の休耕地がある。農業委員会の会長さんもおられるが、休耕地をなくしていく必要があり、現在、色々な活動をしていただいているので、市の農林水産課も農業委員会と一緒に考えている。

教育長 北灘中学校のプールについて、説明させていただく。北灘中学校のプールは、6、7年前から使用できない状況になっている。簡単に修理ができるのであれば、子供たちの水泳に利用するために修理が既にできているはずであるが、修理ができないほど、傷んでいる状況である。近隣の小学校や第一中学校で、子供たちがプールを利用しており、申し訳なく思っている。

プールに水を溜めて活用するということについては、今後の北灘中学校の跡地活用と合わせて、その中で協議をしていただく。今までは、消防団との協議の中で、「水を溜めなくても大丈夫だろう」との判断があったと聞いているが、今後は、消防団と協議していただきながら、「どうしても水を溜めなければいけない」ということになれば、跡地活用の中で協議ができたと思うので、よろしく願いしたい。

市民 北灘町は、2000人あまりの町民が住んでいるが、まちおこしの観点から、市長のご意見を伺いたい。“ASA トライアングル”という言葉聞いたことがあると思うが、これは、23年前、谷崎市議会議員が市職員時代に立ち上げた広域の協議会である。阿波の鳴門市、讃岐の東かがわ市、淡路島の南あわじ市の、播磨灘を挟んだ3都市が連携し、小学生の絵画コンクールや、スポーツ交流を行ってきた。最近ではJF北灘さかな市などにASAトライアングルの幟も立てている。ASAトライアングルを歌で応援できないかとの思いから、「かけはし」という歌を作った。歌詞の1番は鳴門、2番は南あわじ、3番は東かがわについて書いた。近く、南あわじ市、東かがわ市にキャラバンで宣伝に行く予定である。市役所の廊下には、ポスターも貼っていただいております、オーケストラをバックに演奏も録り、練習している。ASAトライアングルが発足した当時の様子と、今後の予定についてお聞きしたい。

谷崎市議会議員 当時、これからは、行政区域の境をなくしたボーダーレスな交流が活発になるだろうとの思いで、ASAトライアングルの取り組みを始めた。今でも交流は続いている。物産をはじめ民間レベルでの交流があり、文化交流、スポーツ交流がある。ひとつの市でタレントを呼ぶとコストがかかるが、ASAトライアングルで連携して来て

もらうと、コストダウンになる。そんなことも、各市の文化施設の活用の観点から取り組んできた。

市長 当時は、南淡町、引田町だったが、現在は、南あわじ市、東かがわ市になっている。23年経ったが、行政単位で取り組んできた。なかなか広がり少なく、経済的にも文化的にも何とかならないかと最近話しをするようになった。各市の商工会議所の会頭なども会議に来ており、「行政は行政で取り組んでも良いが、経済界でも連携を組んで取り組もう」との話になっている。やはり、顔が見える関係というのが非常に大事で、まずは、東かがわ市、次は鳴門市、そして南あわじ市で経済界の懇親会もやろうという話になった。

南あわじ市とは、行政単位で既に連携をする形になっている。鳴門海峡という同じ観光資源を挟んでいるので、「鳴門海峡を世界遺産にしよう」という取り組みを行っている。このきっかけは、鳴門市が初めにつくったが、南あわじ市も一緒にやろうということになり、現在は、南あわじ市と鳴門市が一緒になって、世界遺産への登録を目指している。南あわじ市は、鳴門市より一歩進んでおり、島全体が兵庫県に働きかけて、県を巻き込んでいる。現在、鳴門市は、鳴門だけが頑張っているのでは、県を巻き込み、東かがわ市にもお願いしようと思っている。

もう1点は、南あわじ市と連携して、鳴門海峡を起点にして、外国人を呼んで来ようとしている。観光庁に、外国人を誘致するための整備事業計画を出したものが採択されて、去年1年間実施している。

東かがわ市とも、行政、経済界だけではなく、市民の皆様とも交流ができるようになっていかなければいけない。特に、引田と北灘は、昔から生活圏であるので、東かがわ市との交流については、北灘の皆さんに率先して協力をお願いできたらと思っている。歌を通じて、より良い交流になっていったら良いと思う。

市民 これからも、まちづくりに頑張ってください。

4. 地域の課題について意見交換

会長 地域の課題について、または、市全体の行政について、市長にご質問・ご意見・ご要望等があればよろしくお願ひしたい。

市民 遊休農地について、現状を話したい。新聞等でご承知の通り、日本の自給率は40パーセントほどで、全体的な遊休地は、約40万ヘクタールである。それだけ多くの遊休地があるのに、なぜ自給率が上がらないのか。今、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）の協議が始まっている。農業委員会の会長もしているが、委員会としても、できるだけ、耕作放棄地の解消に取り組んでいる。2年前には、鳴門市に100町の放棄地があった。それを、農業委員会が解消に取り組んで、そのうち20パーセントが解消された。農業振興地域の線引きの中では、放棄地は非常に少ない。どうしても、阿讃山地

に隣接している北灘には多くの放棄地がある。鳥獣等の被害により、作物を作っても、サル・イノシシなどの被害に遭うことで、耕作を放棄していくというのが現状である。できれば、耕作放棄地対策の中でも、一番重要なのが、阿讃地域に残された農地ではないかと思う。北灘の地域でも、多くが山間部の耕作放棄地である。

一つの案として、宅地を買ったが、計画が上手くいかず利用しなくなったので、そこを農地にしたいという相談があるが、その際は、通常3年くらいは実績を見させてもらうことにしているが、農業委員会が本当に使えるのかどうか見させていただき、1年目でも農地に変えられるよう、県会議に相談して内規で対応できるようにしたいと考えている。また元に戻す場合は、農地法に基づいて整備してもらわなければいけないというハードルはあるが、地域が一体となって、農地へと開拓してもらえそうなことなら、農業委員会としては協力していきたいということを前面に出している。

空き地の問題では、市長と意見交換したことがある。鳴門市は、県下で2番目の多さである。全部は無理だが、調査はしてほしい。

東北の被災地の状況を見ると、避難に際して、主要道路に隣接した空き家は、地震が起きたら倒れるので、対策を取っていただかないと、東南海・南海地震が起こった時に逃げるに逃げられない。そのことについて、一度市長に考えていただきたい。

最後になるが、補助金の関係で「過疎集落」という言葉が出てきたので考えたが、へき地教育的な事業が昔あったので、鳴門市にへき地があるのかなと考えたりしながら、北灘も平地の過疎集落になるのかなと思った。鳴門市からへき地をなくすために、800万円を緊急でいただいたが、市としても何か事業を考えていただきたい。8月の終わりなので、各課が予算の編成を考えていると思うが、市長が「北灘の過疎集落を解消するような予算を上げてこい」と言ってくれるようお願いしたい。

市長 「過疎集落等自立再生緊急対策事業」では、北灘は過疎集落ではなく、特定農山村という枠組みで選定していただいた。鳴門に過疎地という枠組みはないことを共通理解しておきたい。

空き家対策について、どうするかという話は、結論まで至っていないが、方向付けをしていきたいと考えている。災害時に避難するにしても、全く状況が違ってくるので、何らかの対応が必要と考えている。

今回の緊急対策事業の中で、農業生産法人を立ち上げていただき、耕作放棄地対策に取り組んでいただけることは非常に有難いと思っており、サポートもさせていただきながら、ともに考えて頑張っていきたい。

宅地を農地化する、地目変更することについて、農業委員会として柔軟に対応していきたいとの話があったが、なるほどと思った。これは、市街化区域で考えているのか、市街化調整区域の中で計画されているか。

市民 できれば、市街化区域ではないようなところで、事情が合えば、協力していきたい。農業振興地域ではない。

市長 転用が可能なエリアということで良くわかった。

鳥獣被害については、今年度から捕獲報奨金が出るようになった。大型鳥獣を捕獲した場合、上限1頭8千円、鳥類については、上限200円出ている。今までは、猟友会に対して、鉄砲の弾代だけ出していたが、それに上乗せする形になった。

NPO 法人ハーモニー 補助金をいただき、先日、雨の中ではあるが、体験学習を行った。学校が廃校になっても、豊富な自然を生かし、栗田にある葛城神社もどンドン利用し、子ども達が体験もできるようにしていければ面白いのではないか。香川県の直島のように、何もないところに何故あれだけの観光客が訪れるのか、実際に行ってみたがどうということもない。北灘の自然のほうが一番素晴らしいと思った。直島には、地中海アートとして、有名な建築家やベネッセコーポレーションという企業などが協力して、島全体を盛り上げている。北灘でも同じようなことができるのではないか。

北灘中校長 北灘中学校がもうすぐ閉校し、最後の文化祭・体育祭になるので、ぜひとも盛大に成し遂げたいと思っている。生徒にも「有終の美を飾ろう」と言っている。全校生徒が3人なので、夏休みもほとんど学校に来ているような状態で準備している。

今、記念誌の準備をしている。記念誌のメインとなるのは、やはり写真だと思う。今年の夏休み中に、写真の電子化をしたが、もっと良い写真があればと感じたので、地域の皆さんからも提供していただければありがたい。

9月2日の13時46分に、北灘中学校の運動場で、大浦地区と合同避難訓練を行う。その後、14時30分から地域防災についての話をさせていただくことになっている。本校は、全校生徒が3人なので、もし、ご都合がつけば、地域の皆さんにも、視聴覚室に来ていただいて、講演を聴いていただけたらと思っている。

市民 運動会・文化祭の呼びかけは、どの範囲で行うのか。

北灘中校長 北灘地区だけには、呼びかけのチラシを配っている。PRについては、現在、考えているところである。OBも帰省していると思い、お盆前にチラシを配った。また、ご意見をいただいて考えたい。

市長 写真については、広報なるとから使える写真があれば、提供したい。

市民 北灘まつりが10月12日にあり、それまでに北灘町に関する古い写真を集める計画がある。先ほど校長先生から依頼があったので、学校の写真があれば、早いうちに提供していただきたい。

北灘中校長 9月21日の北中祭でも、体育館で思い出の写真展示をしようと思っている。もし、その時までには写真があれば、非常にありがたい。

市民 北灘には、ロマンチック海道と彫刻公園があるが、ドイツのロマンチック街道に匹敵するようなものなので、ぜひ来ていただきたい。北灘まつりに中学生が参加する前には、必ずロマンチック海道まで行って往復してから、北灘まつりに参加する。彫刻公園には、「宇宙の鼓動」と名付けられた、天に突き上げるような彫刻があり、見たら感動すると思う。14年ほど前に完成させて、大々的に完成式を行った。最近、荒れ

放題だったが、総代会の有志がボランティアで「花いっぱい運動」として、清掃し、季節の花を植えている。今は、見違えるほどきれいになった。ぜひ、来ていただいて、ロマンチック海道と彫刻公園を見ていただきたい。今頃だと、夕日がきれいに見えるサンセットビーチにもなっている。その向こうは、500メートルのロングビーチなので、市長に見てもらいたい。

市長 昨日、市役所に彫刻公園の掃除前と掃除後の写真がそれぞれ届いた。それを見たので、先ほどのお話を踏まえて、ぜひ、現地も見に行きたいと思っている。

司会 たくさんの意見をいただいた。予定の時間が迫っているので、最後に、会長と市長より、あいさつをお願いしたい。

会長 私たちは、北灘町が少しでも活性化し、良くなるように今後とも努力したいと思っている。今後とも、ご協力・ご指導のほどよろしくをお願いしたい。

市長 問題提起をしていただいたことについては、北灘町だけではなく、全市的な問題なので、市役所の中できっちりと議論して、それが、一つでも多くの事業として、目に見えるように努力したいので、よろしくをお願いしたい。

消火栓のことについては、確認次第、ご連絡を差し上げたい。

以 上